

TOYOTETSU

環境報告書 2022

ものづくりの技術開発と環境保全活動を進め
SDGsを達成する社会構築をめざしています

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS



豊田鉄工株式会社

1 目次

1. 目次、編集方針	1
2. トップメッセージ	2
3. 環境マネジメント	3
4. 2021年度取組み結果	6
5. 低炭素社会に向けた取組み	7
1 : 生産活動における CO2排出量低減実績	
2 : CNロードマップ	
3 : 各工場改善実施内容	
4 : 太陽光発電設備導入状況	
6. 循環型社会に向けた取組み	12
1 : 生産活動における水使用量実績、 廃棄物排出量実績	
2 : ソルガムを軸とした循環モデルの構築	
7. 自然共生社会に向けた取組み	14
8. マネジメントでの取組み	17
SDGs取組み紹介	
1 : 豊田市との連携	
2 : 豊田商工会議所との連携	
3 : トヨタグループトピックス	
9. 環境受賞	22
10. 第三者保証	23

編集方針

トヨタ環境報告書は、トヨタの環境保全活動について広く社会に発信することを目的に発行しています。

報告対象範囲

豊田鉄工(株)および連結対象の関連会社

※グラフ、表のデータは豊田鉄工本体のものを示す

報告対象期間

2021年4月1日より2022年3月31日
までの活動を報告

※一部、2022年度の事項を含む

参照ガイドライン

環境省発行
『環境報告ガイドライン』

発行時期

2023年2月

会社概要

会社名	豊田鉄工株式会社 TOYODA IRON WORKS CO.,LTD.
代表者名	岩瀬 次郎
所在地	本社 豊田市細谷町 4-50
創立	1946 年 (昭和 21 年) 2 月 27 日
主な事業	自動車部品製造

2 トップメッセージ

『環境問題』を『自分ゴト』として捉え、「意識」と「見方」と「行動」を変える

トヨタの『環境』の取組みの歴史を振り返りますと、2000年にISO14001を取得して以降、第1次環境取組みプランを策定し活動してきました、2011年の第3次環境取組みプランでは、現在の取組みの柱である、

- ①低炭素社会の構築
- ②循環型社会の構築
- ③自然共生社会の構築
- ④マネジメント

を掲げました。また2012年には、日本の原子力発電所の稼働制約を受け、他社に先駆け、トヨタ本体の電力使用量原単位の30%減（2015年までに）を宣言し、省エネ改善を“地道に愚直に”取組んでまいりました。（この目標は達成済）

ここ数年取り巻く環境は激変しており、特に2020年頃より世界規模でカーボンニュートラル(CN)に向けた流れが急加速しました。

そこでトヨタは、第5次環境取組みプランの中で、2030年までにCO2排出量を50%減(2013年度比)、2050年にCN達成を目標としました。

まずは、トヨタ単体で取組み、続いてグループ全体、更には仕入先様も含めたオールトヨタ関係者相互で情報交換を密に行い、一步一步進めてまいります。

しかし、CN目標自体は従来の取組みの延長線上では達成困難な非常に高い目標です。

取組みのベースは、あくまでも一人ひとりが『環境問題』を『自分ゴト』として捉え、「意識」と「見方」と「行動」を変えていただくことです。トヨタの長年継承する「MOTTAINAI」の精神で、

フリカエル（自分の行動を振り返る）

そして省エネ改善ポイント『六つの心得』

- ①ヤメル ②ナオス ③トメル
- ④サゲル ⑤ヒロウ ⑥カエル

の実践をしていきます。

会社でも、またご家庭においても、一人ひとりの行動を見直し、実践することが、今は小さくても、将来大きな成果となることを信じております。



取締役社長

岩瀬 次郎

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

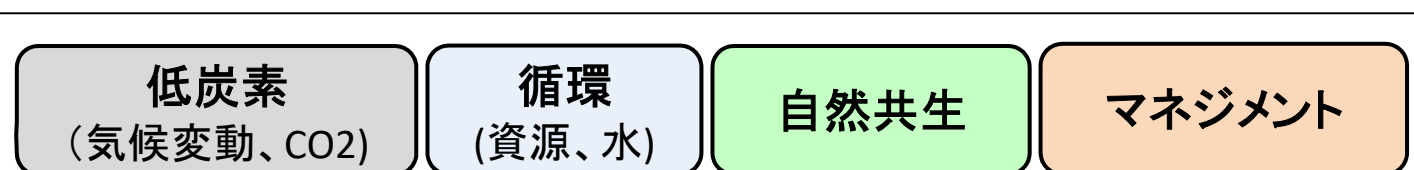
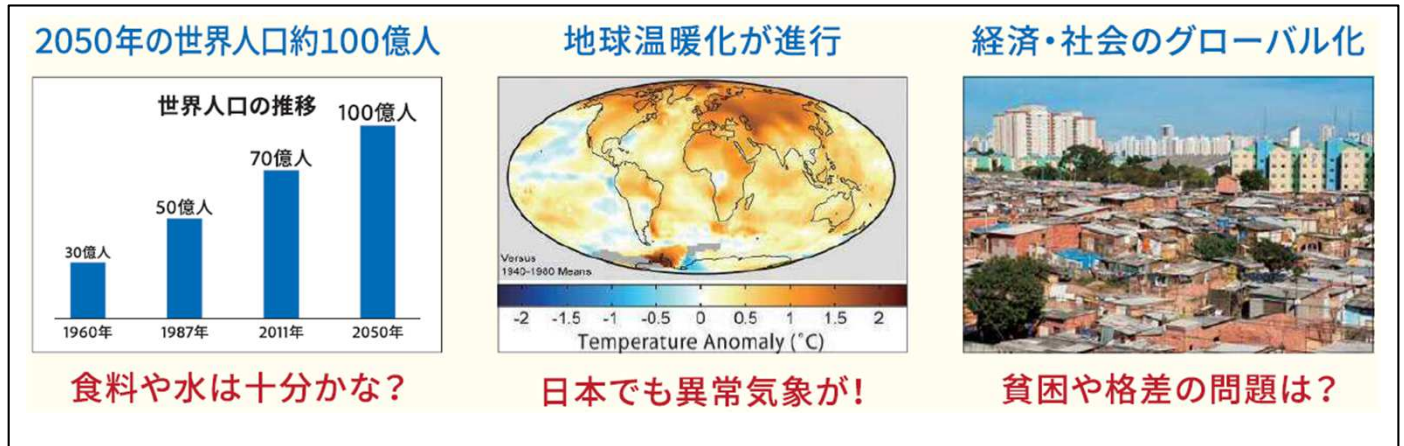


3 環境マネジメント

3-1. トヨタグループ環境取組みプランとSDGsとのつながり



出典愛知県SDGsガイドブック



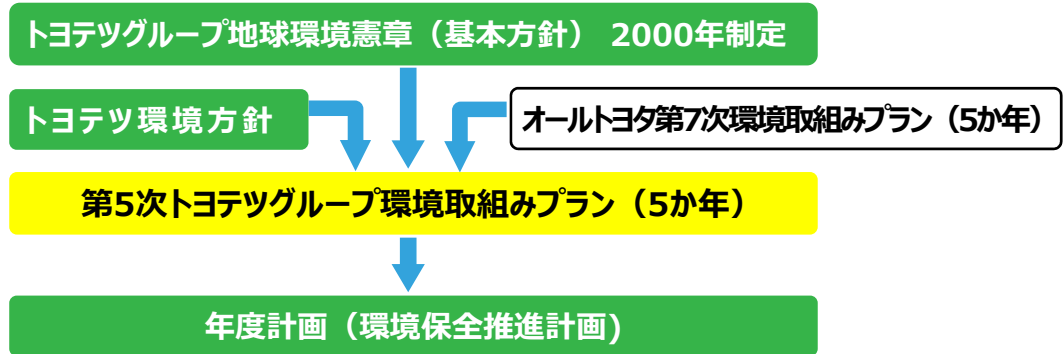
トヨタグループ環境取組みプラン

3 環境マネジメント

3-2. 環境方針と取組みプラン



環境に関する基本方針は、2000年に制定された「トヨタグループ地球環境憲章」のもと、環境に対する取組み方針を「トヨタ環境方針」として定め、国内外事業体20社で共有しています。
こうした方針に基づき、5か年プラン及び年度計画を立案し、環境法令順守を始めとして全員参加で廃棄物低減、省資源、省エネルギーに取り組んでいます。



第5次トヨタグループ環境取組みプランは、2021年度からの5か年の活動計画と目標を定めたものです。
企業活動における環境の重要取組みテーマを4つに分類し、地球環境と調和したものづくりを通じて、地域社会・地球の持続可能な発展に寄与します。

低炭素社会の構築

- *温室効果ガス排出量の大幅な削減
 - ・部品軽量化開発
 - ・工場CO₂排出量低減
 - ・物流CO₂排出量低減

循環型社会の構築

- *3R(Reduce Reuse Recycle) を通じた資源循環の推進
 - ・リサイクルしやすい部品開発・拡販
 - ・排出物の低減と資源の有効活用
 - ・水使用量の低減

第5次トヨタグループ環境取組みプラン

自然共生社会の構築

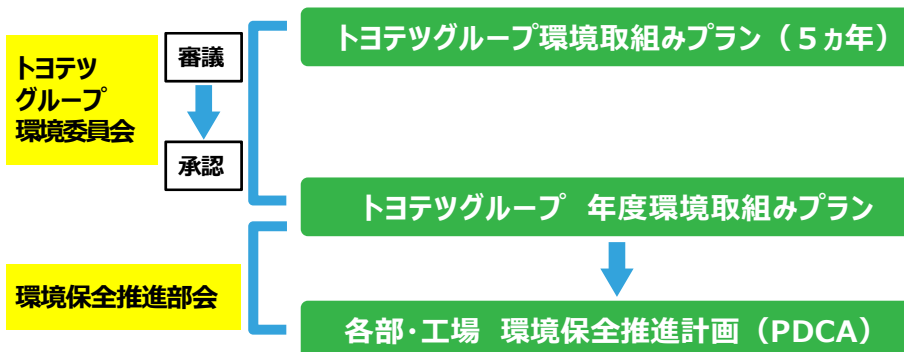
- *地域とつなぐ自然保全活動、未来へつなぐ教育
 - ・緑化事業の推進
 - ・世界へつなぐ環境活動の推進

マネジメント

- *法令順守、情報の開示とコミュニケーション
 - ・グローバル社員教育
 - ・ビジネスパートナーと連携した環境活動

推進体制

2回/年のトヨタグループ環境委員会で、グローバルでの今後の活動についての審議と取組み結果を報告



3 環境マネジメント

3-3. 第5次トヨタグループ環境取組みプラン(2021-2025年度)



2021年4月から、第5次プランスタート

● 付： オールトヨタ環境連結取組み（必須）

○：必須、(○)：一部必須、—：対象外

区 分	取 組 目 的	SDGs	具 体 的 な 実 施 事 項・目 など	目 標 値	主たる 実施部署	国内 事業体	海外 事業体
低炭素 (気候変動・CO ₂)	1 トップクラスの燃費性能を目指す開発		部品の軽量化によるCO ₂ 低減（ライフサイクルによる横上げ）	26,261 t-CO ₂ 低減	第1.2技術	—	—
	2 次世代車に向けた部品開発	13 気候変動	現行ガソリン車から電動車・ZEVへの変換に伴う部品開発	開発取組み：2 部品 開発完了：5 部品	開発、2 技術	—	—
	3 物流活動における輸送効率の追求とCO ₂ 排出量の低減	13 気候変動	●輸送効率の一層の改善によるCO ₂ 低減活動の推進（徹底した総走行距離の低減）	CO ₂ 排出総量▲5% (2020年比)	生産管理	○	—
	4 エコ交通の推進	13 気候変動	グローバルでのエコドライブ普及推進とエコ交通への切替え推進、コモビ拡販	Scope3 排出量削減 ▲5% (2020年比)	事務局	○	○
	5 生産活動におけるCO ₂ 排出量の低減	13 気候変動	●1) 低CO ₂ 生産技術の開発・導入と日常改善活動によるCO ₂ 低減活動の推進 ・生産性向上の追求、オフィス等も含めた活動の展開 2) 電気使用量原単位低減 (4次プラン目標の'10年度比'25年度▲50%は'19年度に達成済み) 3) 最新省エネ機器、エネルギー導入への道筋を展開 ①PQ加熱炉の熱利用 ⇒ 継続的に推進する ②世間状況を見て省エネ機器、エネルギー導入への道筋を立てる ●4) 各国、各地域の特性を考慮した再生エネルギーの導入(購入含む)の 一歩として自家消費出来る太陽光発電等の設置（投資回収を見ながら） 水素活用、CO ₂ 排出権購入等の検討を進める	CO ₂ 排出総量（'13年比） TIW：▲25% (17441t) グローバル：前年比▲6.5% CO ₂ 総排出量 ▲25%低減の内数 CO ₂ 総排出量 ▲25%低減の内数 (再エネ導入率 TIW：5%以上)	全社 全社 生技管理 事務局 生技管理 各工場 事務局	○ ○ (○)	○ ○ (○)
循環 (資源・水)	6 生産活動における水使用量の低減	6 清潔な水と衛生	●各国、各地域の水環境事情を考慮し、継続的な水使用量低減活動を推進 ①雨水利用拡大、工場排水の循環リサイクル、クーリングタワー更新 ②日常改善など各種取り組みによる水使用量低減	総使用量▲5% (2020年比)	全社	○	○
	7 資源回収しやすい易解体性の実現 (環境配慮設計の継続取組み)	8 持続可能な消費	●新技術・新材料部品の易解体構造の開発・織込み・拡販	開発完了：5 部品	第2技術	(○)	—
	8 生産活動における排出物の低減と資源の有効利用	12 持続可能な消費	●1) 歩留まり向上等の発生源対策による排出物低減と資源の有効利用促進 ●2) 有価物・廃棄物の発生量低減等、資源ロス低減活動の推進	総排出量▲5% (2020年比)	全社 各工場 事務局	○ ○	○ ○
自然共生	9 各事業所・各地域の活動を "地域とつなぐ" 自然保全活動の推進	11 持続可能な都市とコミュニティ	●自然保全の活動を地域とつなぐ ・これまでのサステナブル・プラント活動の継続と、オールトヨタのさまざまな活動を、 海外・関連会社や地域へ広げる、ステークホルダーとの連携で活動の輪を広げる。	自然と共生する工場 国内 1ヶ所増	計画部署 生技管理 事務局	○	○
	10 自然・生物多様性保全を "世界へつなぐ" 環境活動の推進	15 陸の豊かさ	●環境保全・生物多様性保全の活動を世界とつなぐ ・TIWの活動をグローバルに展開	海外 2ヶ所増	事務局	○	○
	11 環境活動を "未来へつなぐ" 環境教育貢献の強化	13 気候変動	●各地域の事業所やフィールドを活用した環境教育を強化し、環境保全活動を未来へつなぐ ・工場の森、事業所の緑・ビオトープなどを活用した地域住民・子供教育を グローバルに 拡大していく	トヨタの森で環境教育 プログラム継続実施	人事総務 事務局	—	—
	12 緑化事業などによる環境貢献の推進	13 気候変動	●1) 緑化事業などを通じた、温暖化・気候変動「適応」貢献	グリーンウェイ継続	事務局 生技管理	○	○
マネジメント	13 連結環境マネジメントの強化推進	7 持続可能なエネルギー	●1) 国内外における環境活動の充実による各国、各地域での全事業活動にかかわる環境 パフォーマンス（CO ₂ 低減・ランクアップ活動、水低減など）確保に向けた活動の強化 ●2) 各国、各地域の環境法令遵守と環境リスクの未然防止活動の徹底強化	活動状況の共有 (経営会議) 異常苦情・ヒヤリゼロ IMDS入力不備0件	事務局 全社 第2技術 事務局	○ ○ (TEC)	○ ○ ○
	14 各国、各地域の都市大気環境改善に 資する排ガス低減	16 平和と公正	●各国、各地域の都市環境改善に資する低排出ガス車を着実に導入	ZEV車積極導入	人事総務	○	○
	15 生産活動におけるVOCの低減	3 持続可能な消費	塗装工程における塗料、シンナー（トルエン、キシレン等）の低減等VOC低減活動の推進 ・塗装設備改装計画と連動した取り組みと日常改善によるVOC低減を継続的に推進	VOC▲5% (2020年比)	各工場	(○)	(○)
	16 ビジネスパートナーと連携した 環境活動の推進	17 持続可能な消費	●仕入れ先との連携を一層強化し、オールトヨタで共に環境を良くする活動を推進 ①CO ₂ 低減、資源循環、水インパクト低減、自然共生社会の構築等、幅広い環境取り組みを 連携して推進 ②TOYOTAグリーン調達ガイドラインの取り組みをオールトヨタに展開	仕入れ先環境フォロー 会社の拡大	調達 事務局	○	○
	17 グローバル社員教育・啓発活動の 一層の強化	4 質の高い教育	●グローバルで、従業員への環境教育を通じた環境保全意識の啓発推進 ①国内外事業体と連携した環境教育の推進（グローバル環境担当ミーティング） ②各国、各地域の実情に合わせた環境教育の実施	グローバルで共通の 教育資料作成	人事総務 事務局	○	○
	18 環境情報の積極的開示と コミュニケーションの充実	14 海の豊かさ	●1) 環境の情報開示の一層の充実 ①環境情報の収集対象とする事業体の拡大とその仕組みづくり ②環境報告書の更なる内容充実	CDPランク" B" 維持 国内外事業体内容拡大	事務局 事務局	— —	— —
		12 持続可能な消費	●2) グローバル及び各国、各地域での環境のコミュニケーション活動の充実	1 回/年 以上	人事総務 各工場	○	○

4 2021年度取組み結果

4.環境取組みプラン結果



トヨタは2021年度から新たにスタートした第5次プランに基づき、自動車部品の開発・設計、生産、物流のあらゆる段階において、温室効果ガス及び排出物の削減に取り組んでいます。

達成: 未達: 重大な欠陥:

2021年度 トヨタグループ環境取組みプラン

区分	取組み項目	SDGs 繋がり	基準年	主な実施内容	目標値	TIW		事業体			
						結果	評価	国内事業体		海外事業体	
低炭素 (気候変動・CO ₂)	1 トップクラスの燃費性能を目指す開発	13	20年度	・部品の軽量化	5,712t-CO ₂ 低減 (1840t減)	5740t-CO ₂ (1871t)					
	2 次世代車に向けた部品開発	13		・電動車・ZEV変換に伴う部品開発	開発取組み: 1 部品 開発完了: 1 部品	1 部品 1 部品					
	3 物流活動における輸送効率の追求とCO ₂ 排出量の低減	13	20年度	・トラックダイヤの見直し ・車間あたりの積載量を増やす	CO ₂ 排出量 ▲1% (2020年比)	+12.7%		排出総量			
	4 エコ交通の推進	13	20年度	・エコドライブの実践	業務用車CO ₂ ▲1%	+8.3%		エコドライブ		エコドライブ	
	5 生産活動におけるCO ₂ 排出量の低減	13	19年度	・環境に配慮した移動手段の実践(業務用車ハイブリッド化、通勤自転車切替) ・ランクアップ活動の推進、展開 ・省エネ機器の導入 ・工場×生技×環境改善活動で省エネ加速(事業体はTIWの内容を模倣)	19年度比 原単位 ▲6.3% 総量 ▲1523t-CO ₂	19年度比 原単位 ▲12.1% 総量 ▲2866t-CO ₂ (▲11.9%)		目標: ▲12.6% 原単位: 総量:			
循環 (資源・水)	6 生産活動におけるCO ₂ 排出量の低減	13	19年度	・関係部署と連携し老朽設備更新時の省エネ設備導入 ・最新情報を検証し機器、エネルギーの検証を行い提案	戦略会議にて提案	2月戦略会議にて シナリオ前提条件のみ					
	7 資源回収しやすい易解性体の実現 (環境配慮設計の継続取組み)	13	20年度	・再生エネルギー購入実現に向けた量、金額、CO ₂ 低減の効果を出し購入に 備える(太陽光、水力・風力・バイオマス)	戦略会議にて提案	2月戦略会議		TEC新工場 TTC:検討 TFC:蓄電		---	
	8 生産活動における水使用量の低減	6	19年度	・雨水の利用、工場排水利用のシステム検討	総使用量 ▲2% (2019年比) 原単位評価も可	総量+3.4% (原単位+3.1%)		総使用量		総使用量	
	9 資源回収しやすい易解性体の実現 (環境配慮設計の継続取組み)	6		・オールトヨタ丸となった節水の取り組み							
	10 生産活動における排出物の低減と資源の有効利用	12	19年度	・発生源対策及び不良低減による排出量の抑制 ・ペーパーレスの推進(PDF化、保管方法見直しなど) ・廃棄物の有価化検討	総排出量 ▲2% (2019年比) 原単位評価も可	総量+2.2% (原単位+2.0%)		総排出量		総排出量	
自然共生	11 各事業所・各地域の活動を"地域とつなぐ"自然保全活動の推進	11		・豊田市及びEPOC各分科会と連携して活動の輪を広げる	HPに活動を発信	活動を掲載					
	12 自然・生物多様性保全を"世界へつなぐ"環境活動の推進	15		・緑化活動、環境美化活動参加(グリーンウェイブ継続)	緑化・美化 各1件以上	各1件以上		美化緑化		美化緑化	
	13 環境活動を"未来へつなぐ"環境教育貢献の強化	13		・トヨタの森生物多様性保全の紹介	見学会実施	WEB展示会 環境報告書					
	14 環境活動を"未来へつなぐ"環境教育貢献の強化	13		・トヨタの森を活用した教育プログラム実施	2回実施	豊田市コラボ 1回実施					
	15 緑化事業などによる環境貢献の推進	13		・ヒートアイランド対応(壁面緑化、高性能遮光塗料の普及拡大)	1件以上	グリーンカーテン実施		おおむね (コロナの影響あり)			
マネジメント	16 連結環境マネジメントの強化推進	13		・国内外事業体の環境パフォーマンス報告(経営会議にて)	4回/年	2回/年					
		13		・テレビ会議による環境交流会(ランクアップ活動フォロー、情報共有等)	実施100%	未実施		-			
		13		・異常苦情ヒヤリの未然防止活動	異常苦情ヒヤリ 0件	0件		0件		0件	
		13		・工場インフラ老朽化による環境異常発生未然防止:危険マップ作りと中長期 整備計画作成	実施100%	計画通り		計画通り		計画通り	
		16		・国内外事業体の環境法令遵守チェック及びフォロー	実施100%	100%		100%		100%	
		16		・製品化学物質に関する各国の規制及び客先規定遵守	IMDS入力不備 0件	0件		0件		0件	
	14 各国、各地域の都市大気環境改善に資する排ガス低減	13		・業務用車(更新車両)の低排出ガス車に切り替え	対象車100%	75%		100%		100%	
	15 生産活動におけるVOCの低減	13		・VOC低減対策を継続実施	1件以上	1件以上					
	16 ビジネスパートナーと連携した環境活動の推進	17		・仕入れ先に対する環境バトロールの実施・フォロー	計画の達成	現地確認中止 CN説明会実施		おおむね (コロナの影響あり)			
	17 グローバル社員教育・啓発活動の一層の強化	4		・赴任者環境教育の継続	実施100%	100%		教育実施		教育実施	
環境情報	18 環境情報の積極的開示とコミュニケーションの充実	14		・HPのアップデート	随時アップデート	アップデート実施					
		14		・CDPサプライチェーンマネジメント対応	ランクC維持	気候変動:C 水:B					
		12		・環境月間行事、緑化活動、受賞などの特集を入れ込む ・地域への環境取り組み説明	9月発行 1回	12月発行 (計画通り (コロナで一部中止))		おおむね (コロナの影響あり)			



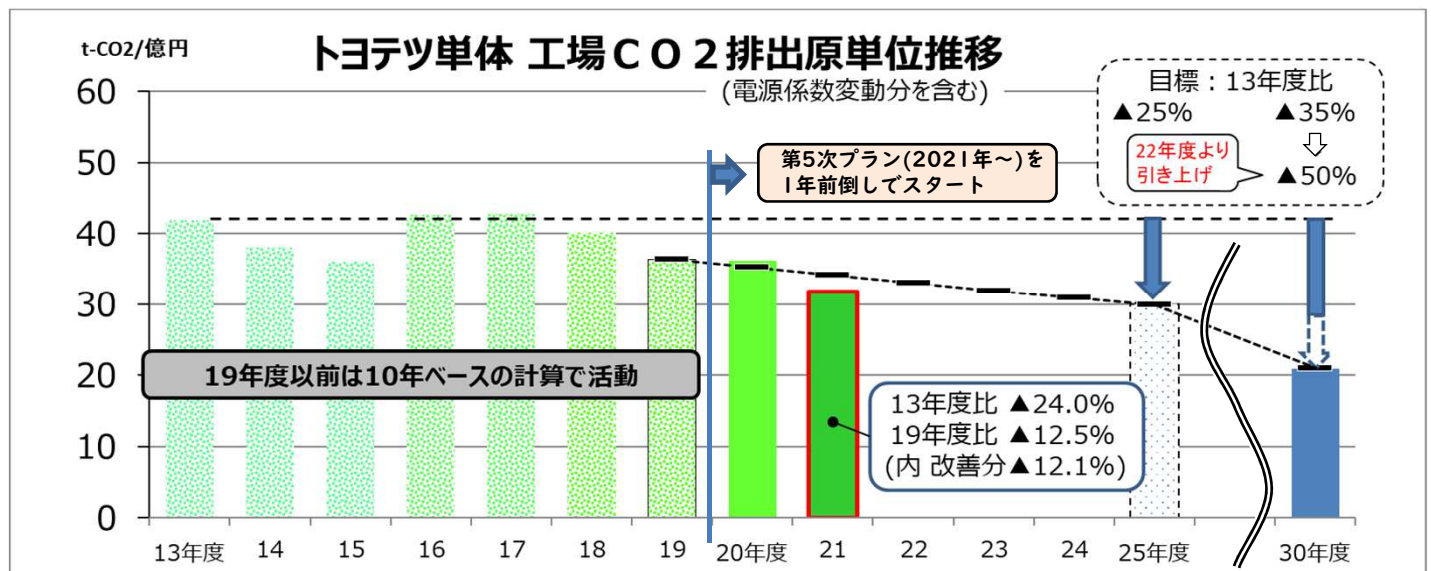
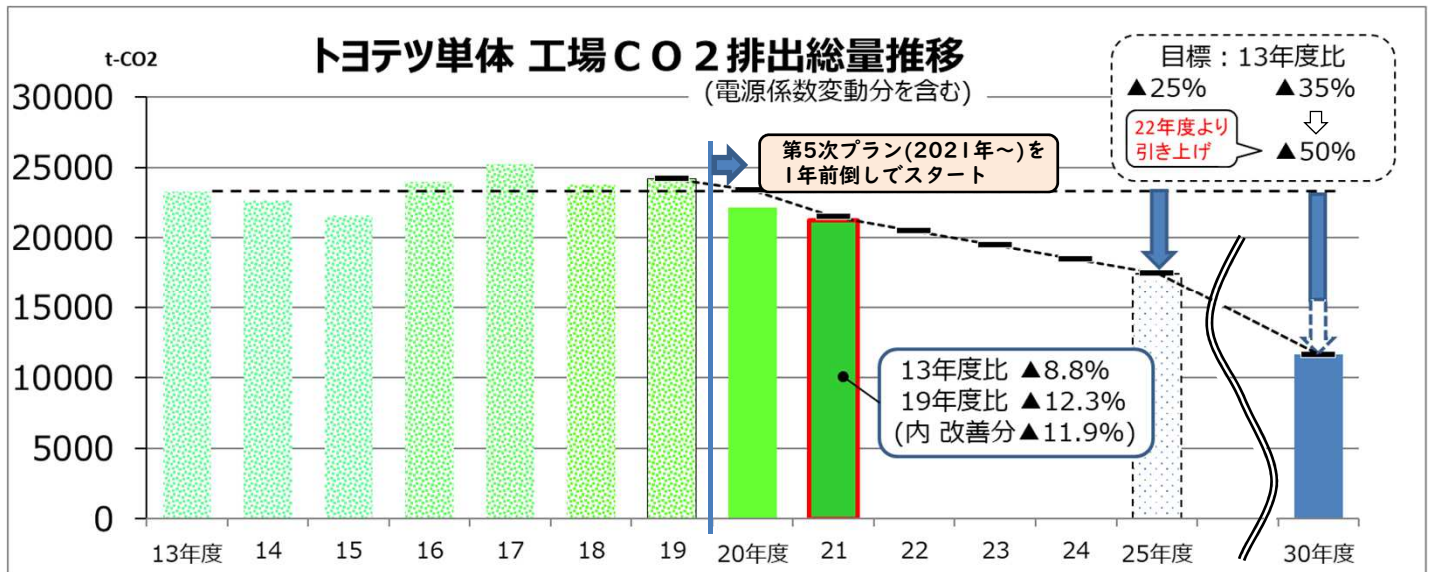
CO2排出

改善低減分での目標と結果
(電源係数変動分を含まない)

総量 : 目標▲6.3% ⇒ **結果▲11.9%**
(▲1,523t-CO2) (▲2,866t-CO2)

原単位 : 目標▲6.3% ⇒ **結果▲12.1%**

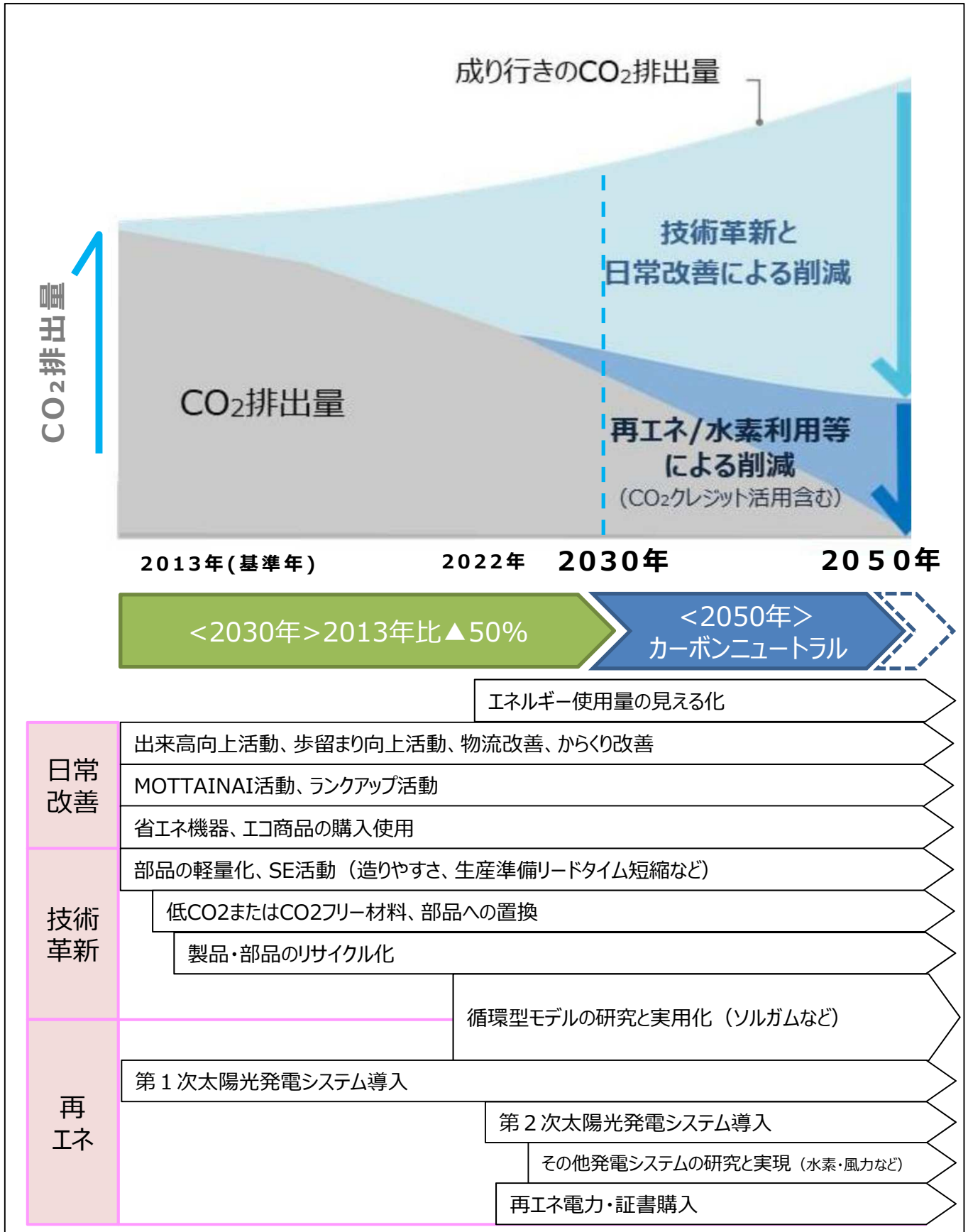
※CO2削減目標は2019年度より毎年▲3.2%積み上げ



21年度CO2排出総量は19年度比▲11.9%低減でした。
生産台数の減少による成行きで低減している所もありますが、
原単位▲12.1%である事から、エネルギー使用量低減の改善活
動による効果も着実に表れています。

5 低炭素社会に向けた取組み

5-2.CNロードマップ



本社工場

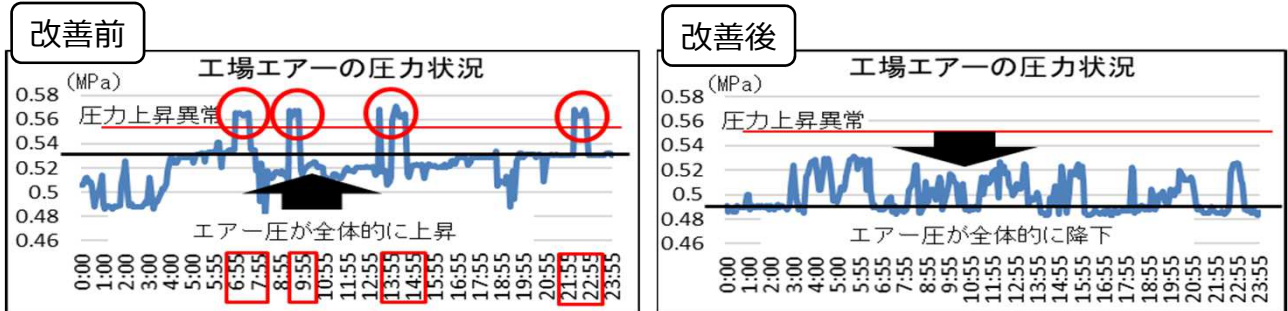


エアコンプレッサ省エネ対策

カエル
サゲル

エアコンプレッサの稼働設定変更によりエア圧力の異常値抑制を図り、
電力使用量低減

《効果》年間CO2排出量 ▲54.27t-CO2削減



プレス・組立エリア照明LED化 (120台)

カエル

照明LED化による電力使用量低減

《効果》年間CO2排出量 ▲1.85t-CO2削減

広久手工場



からくりスクラップシュート

ヤメル

エアブローによるスクラップ排出をプレスの上下運動を利用してスクラップシュートを作動させ、スクラップを型外へ排出

《効果》年間CO2排出量 ▲5.6t-CO2削減



**エアブローで
スクラップ除去**



PQ完品エアブローの系統見直し

カエル

PQ完品の水切りを工場コンプレッサエア⇒送風機に変更し、電力使用量低減

《効果》年間CO2排出量 ▲16.64t-CO2削減

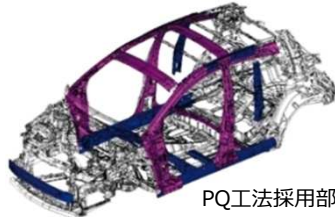
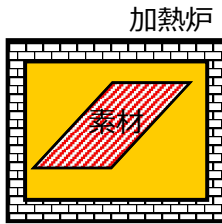
5 低炭素社会に向けた取組み

5-3.各工場改善実施内容 2

額田工場

-  PQ（プレスクエンチ）^{*}ライン寄せ止め
PQライン寄せ止めにより電力使用量低減（高エネルギーが必要な加熱炉を稼働停止）
《効果》年間CO2排出量 160.3t-CO2削減

トメル



PQ工法採用部位

^{*}PQ（プレスクエンチ）とは、…
加熱した鋼板をプレス加工後、
急冷することで、硬度が増し
強度がアップする。

-  立体倉庫柵内照明ON/OFFを安全プラグとの連動化
照明切り忘れ防止による電力使用量低減
《効果》年間CO2排出量 0.23t-CO2削減

カエル

篠原工場

-  手直し塗装ブース照明の照明タイマー化
照明切り忘れ防止による電力使用量低減
《効果》年間CO2排出量 0.012t-CO2削減

カエル

改善前



照明スイッチ
切り忘れが発生！

改善後



タイマー制御

押しボタンで
照明点灯しタイマーが作動

-  不要な照明撤去と工場内LED照明へ更新 全50灯
《効果》年間CO2排出量 3.73t-CO2削減

ヤメル

カエル

各工場では、新型コロナの影響で不安定な生産状況の中、
地道に日常改善に取り組みました。

5 低炭素社会に向けた取組み

5-4. 太陽光発電設備導入状況

導入実績

《国内》

本社工場（愛知） 2011年月～



額田工場（愛知） 2015年4月～



TFC（福岡） 2020年4月～



《海外》

NTC（インドネシア） 2020年7月～



GTAP（中国） 2018年8月～



TTTI（トルコ） 2022年8月～



導入計画

2023年以降も三河・尾張地区、トルコなど国内外での導入を計画しています。

6 循環型社会に向けた取組み

6-1. 生産活動における水使用量実績・廃棄物排出量実績

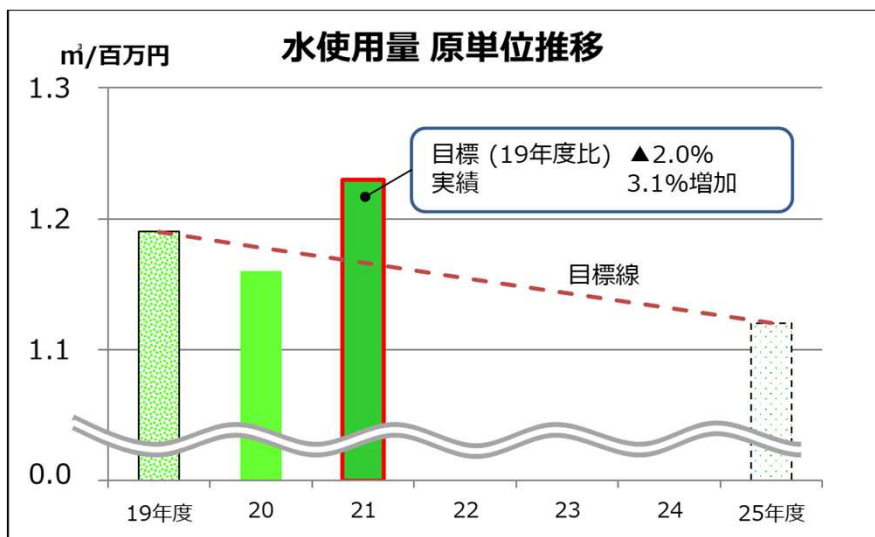


水使用量

総量： 目標▲2.0% ⇒ 結果+3.4%
(▲1,581m³) (+2,656m³)

原単位： 目標▲2.0% ⇒ 結果+3.1%

※廃棄物削減目標は2019年度より毎年▲1.0%積み上げ



<目標未達要因>

- ・工機工場増築工事用水使用量が増加
- ・冷却水戻り埋設配管内で漏れの可能性あり

<今後の取組み>

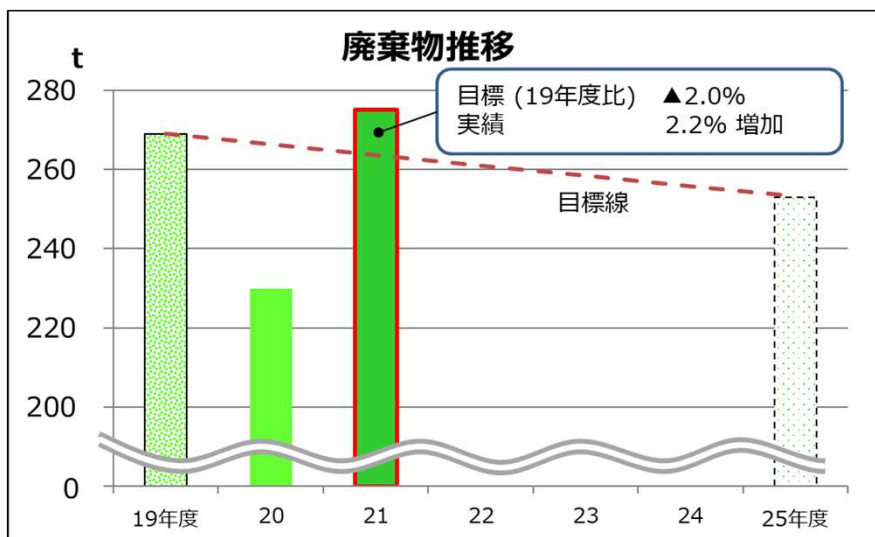
- ・漏えい箇所の特定と修理
- ・雨水の有効利用

廃棄物排出量

総量： 目標▲2.0% ⇒ 結果+2.2%
(▲5.4ton) (+6.0ton)

原単位： 目標▲2.0% ⇒ 結果+2.0%

※水使用量削減目標は2019年度より毎年▲1.0%積み上げ



<目標未達要因>

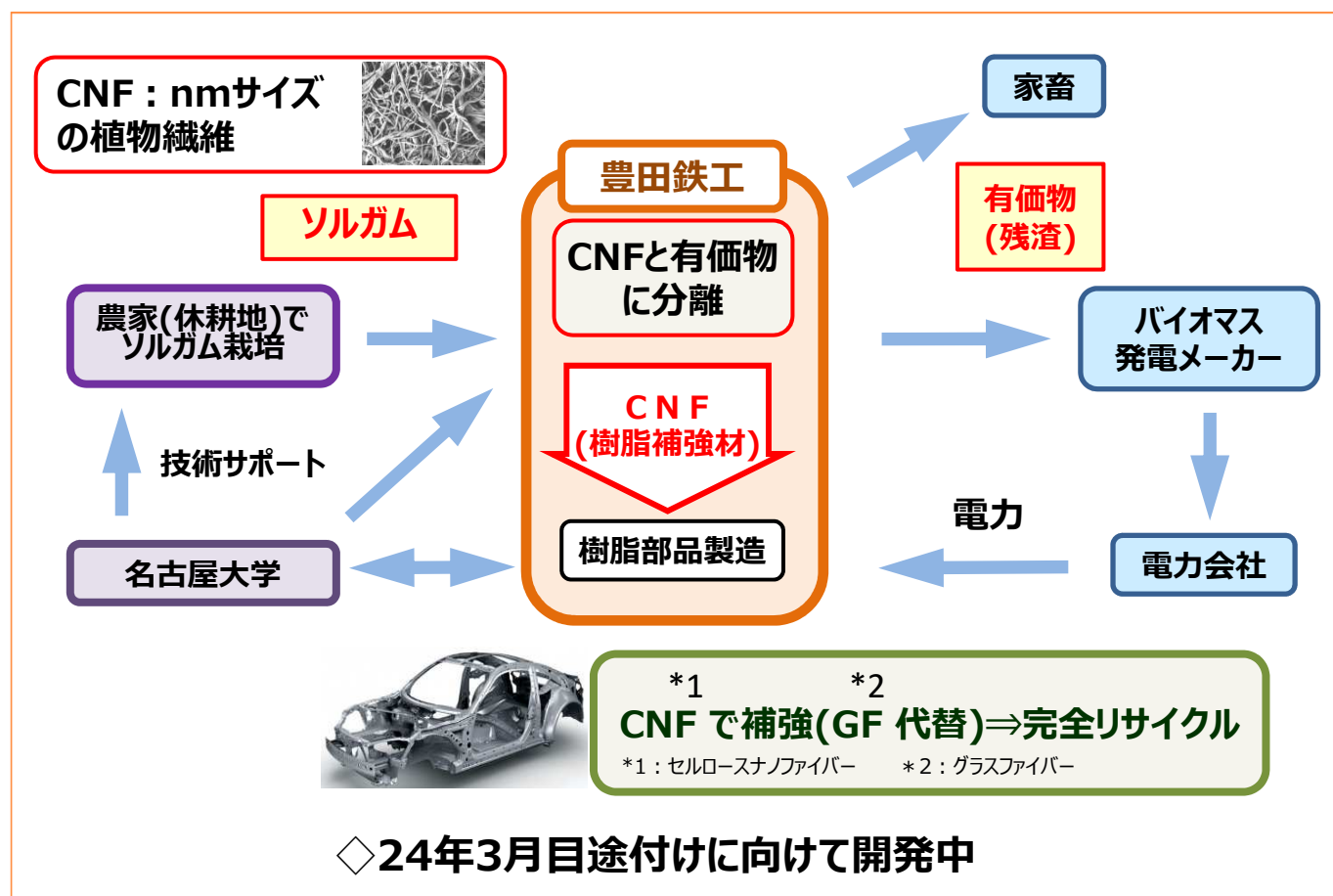
- ・排水原水槽の清掃実施
- ・アグリ事業増産で種付け用スポンジの廃棄増

<今後の取組み>

- ・従来廃棄品の分解分別による有価物の産出

6 循環型社会に向けた取組み

6-2. ソルガムを軸とした循環モデルの構築



ソルガムはサトウキビの一種で、そこからCNFを取出し、樹脂製品の補強材として使用できる。残渣は、エネルギー利用や家畜のエサなどすべて有効活用が可能である。

なんでソルガムなの？

- ・痩せた土地でも育成可能(休耕地でも育つ)
- ・北海道などの寒い地域でも栽培可能
- ・成長スピードが速く3ヵ月で3m程まで成長

自動車って月に何万台も作られてるけど、そんなに作れるの？

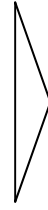
ゲノム解析技術で5mほどまで大きくなるソルガム【炎龍】を保有している名古屋大学 佐塚教授と共同研究契約を結び、安定した量を確保します！



7 自然共生社会に向けた取組み

トヨタの森での活動1

◆トヨタの森



2013年に日本社社屋跡地(4800㎡)に造成

- ・桜や松など既存樹木はそのまま残し自然に近い景観を形成
- ・芝生エリアと滝や池のあるビオトープエリアを造成(循環水)
- ・クリ、ビワ、ヤマモモなど色彩豊かな多くの果樹を植栽



ビオトープ



2本の桜



黒松



コンポスト



池



滝と小川



ビオトープエリア

芝生エリア



自然共生社会に向けた取組み トヨタの森での活動2



◆森の整備

生物の生息地として周辺地域の環境保全に寄与

チガヤの原っぱ



歩道



ホタテ貝殻砂を利用した
遮熱低熱ブロックに更新

草刈り前の池



草刈り後の池



浅くなった小川



- ・虫のすみかとしてチガヤを残すなど工夫して森を整備
- ・歩道の路面ブロックはエコ商品を使用
- ・流れる水は滝→小川→池→滝…と循環利用
- ・流れが滞った小川の泥を掬って改善

◆森の学習小屋の活用（自然共生の活動拠点）

学習小屋



資料の掲示



イベントで活躍



- ・2019年にトヨタの森に小屋を設置
- ・材料は間伐材を使用
- ・イベント活動や生き物調査の資料を掲示
- ・掲示物は、見学者への説明やイベント等で活用



過去イベントで作成した
バードコール

7 自然共生社会に向けた取組み トヨタの森での活動3

◆自然共生 教育活動

教育活動、地域交流の取組み

トヨタの森生き物観察イベント実施(2021/10開催)



(豊田市自然観察の森のレンジャーさん二人が講師です!)



(まずSDGs、生き物について学習!)



(バッタを捕まえた!)



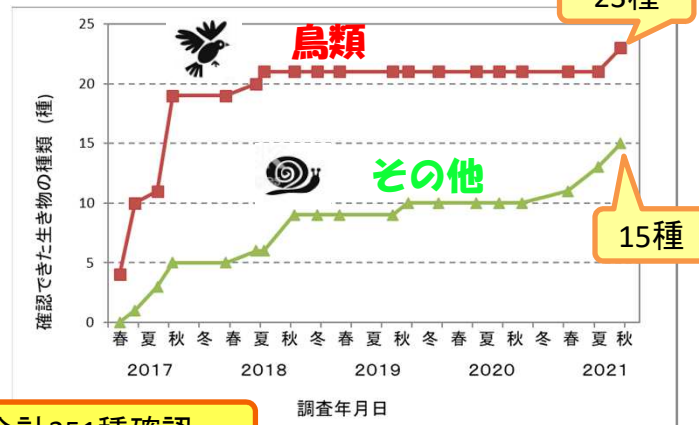
(捕まえた生き物は逃がしました!)

- ・コロナ対策を徹底して開催
- ・豊田市役所と初の共同トヨタの森イベント開催
- ・豊田市広報に掲載し、一般の方からも参加者を募集
- ・SDGsの学習や、トヨタの森の生き物観察を実施



配布したオリジナルSDGs缶バッジ

◆生き物調査結果 (3~4回/年実施)



2022年8月には合計251種確認



- ・生物多様性の指標
- ・毎回新しい生き物が見つかる

8 マネジメントでの取組み ～SDGs取組み紹介～

8-1 豊田市との連携 1



環境政策課と連携

矢並湿地の整備 8・1月
(ラムサール条約登録湿地)



市民が参加したトヨタの森
イベント10月開催



環境の保全を推進する協定協議会に参加

豊田図書館
22年2月10～25日 展示



*21年度は当社が当番企業でした。



トヨタ展示品

構成企業がフードドライブを実施 6月・11月



11月 当社提供食材



食材は豊田市社会福祉協議会へ贈呈

8 マネジメントでの取組み ～SDGs取組み紹介～

8-1 豊田市との連携 2 ～とよたSDGsパートナー



教育機関との連携



講演：9月16日 末野原中学校(WEB)
参加者：7名

生徒さんと環境についての学習テーマ『気候変動に具体的な対策を～』を学びました。SDGsとつながる環境紹介の後に多くの質疑が出されました。

豊田鉄工の活動

～ 気候変動に具体的な対策を～

今日の予定

1. トヨタってどんな会社？……会社紹介
2. SDGsにつながる活動をしています……環境取組紹介
3. 調べて、話し合っ、見つけよう……気づき

2021年9月16日

豊田鉄工株式会社

TOYOTETSU



とよた SDGsパートナー企画への参加



『スポGOMI大会inとよた』 10月30日 開催

街なかが綺麗になる活動に人事総務部 4名が参加しました。
制限時間内に、定められたエリア内でゴミを拾い、その質と量をポイントで競い合う地球に最もやさしいスポーツ「スポGOMI！」

『食品ロス削減全国大会 in 豊田』開催記念
とよたSDGsパートナー
スポGOMI大会inとよた

ゲームで力を合わせ、制限時間内に、定められたエリア内でゴミを拾い、その質と量をポイントで競い合う地球に最もやさしいスポーツ「スポGOMI！」
ルールも簡単なもので誰でも参加でき、さあやってみよう！
ぜひ、優勝目指してエントリーしてください！
参加者全員に参加賞と上位入賞チームには賞品をご用意しています。

大会名称 スポGOMI 大会inとよた
大会日時 2021年10月30日(土) 9:00-11:30 少人数制
集合場所 ギャザ南広場(豊田市駅前) ※集合場所の地図は参加者全員にメールにてお送りいたします。
競技内容 ・1チーム4～5名でゴミ袋と専用ゴミばさみを使って様々なゴミを拾う。
・ゴミの種類や量によって異なるポイントをカウントし、どのチームが多くポイントを獲得したかを競う。
・制限時間は60分
表彰 回収したゴミを計量し、上位入賞チームを表彰
募集予定 先着30組
参加費 3000円/1チーム ※当日徴収
申込締切 2021年10月22日(金)



8 マネジメントでの取組み ～SDGs取組み紹介～

8-2 豊田商工会議所との連携



豊田商工会議所にて トヨタの環境取組み紹介

講演：11月5日 商工会議所
参加者：25名

豊田商工会エコアクション21 事務局より監査員スキルUP研修の中で企業の環境活動の紹介依頼があり講演しました。



とよたビジネスフェアに出展（2022.3） （豊田商工会議所、豊田市開催）

3月10・11日
環境への取組みをメインテーマとして、
テクノエイト（株）、トヨタ共栄会と共に
合同出展しました。



トヨタのブースには多くの方々が見学され、SDGsを意識した環境取組みなどを理解していただく良い機会となりました。

8 マネジメントでの取組み ～SDGs取組み紹介～

8-3 トヨタテックグループトピックス 1



《特集》2022年度 グループ各社の活動



グリーンウェーブプロジェクト



5月22日現地時間10:00に国内外の全事業体で植樹を実施しました。
2019年から始めたこの企画で、グループの結束力を感じます。

トルコで大規模植樹



4月、大規模な山火事跡地の国有林に
1万本の植樹を実施しました。
記念樹として社員が150本の植樹
を行いました。



8 マネジメントでの取組み ～SDGs取組み紹介～

8-3 トヨタグループトピックス 2



《特集》 2022年度 グループ各社の活動



テクノイト (愛知県瀬戸市)
清掃活動ボランティア

トヨタ福岡 (福岡県宮若市)
清掃活動ボランティア



6月25日 愛知県瀬戸市の国定公園
岩田堂公園のゴミ拾いに参加しました。
2016年から参加して今回で7年目です。

7月2日 笠松地域の清掃活動に、従業員と
その家族の方も参加しました。
猛暑の中の活動でしたが、地域住民の
方々とコミュニケーションが図れました。

トヨタ東北 (宮城県登米市)
ラムサール条約登録
伊豆沼のグリーン活動

11月6日 ラムサール条約に登録されている
伊豆沼のグリーン活動に参加しました。
想像以上に捨てられたゴミが多く、少し残念な
気持ちになりました。



満開の蓮

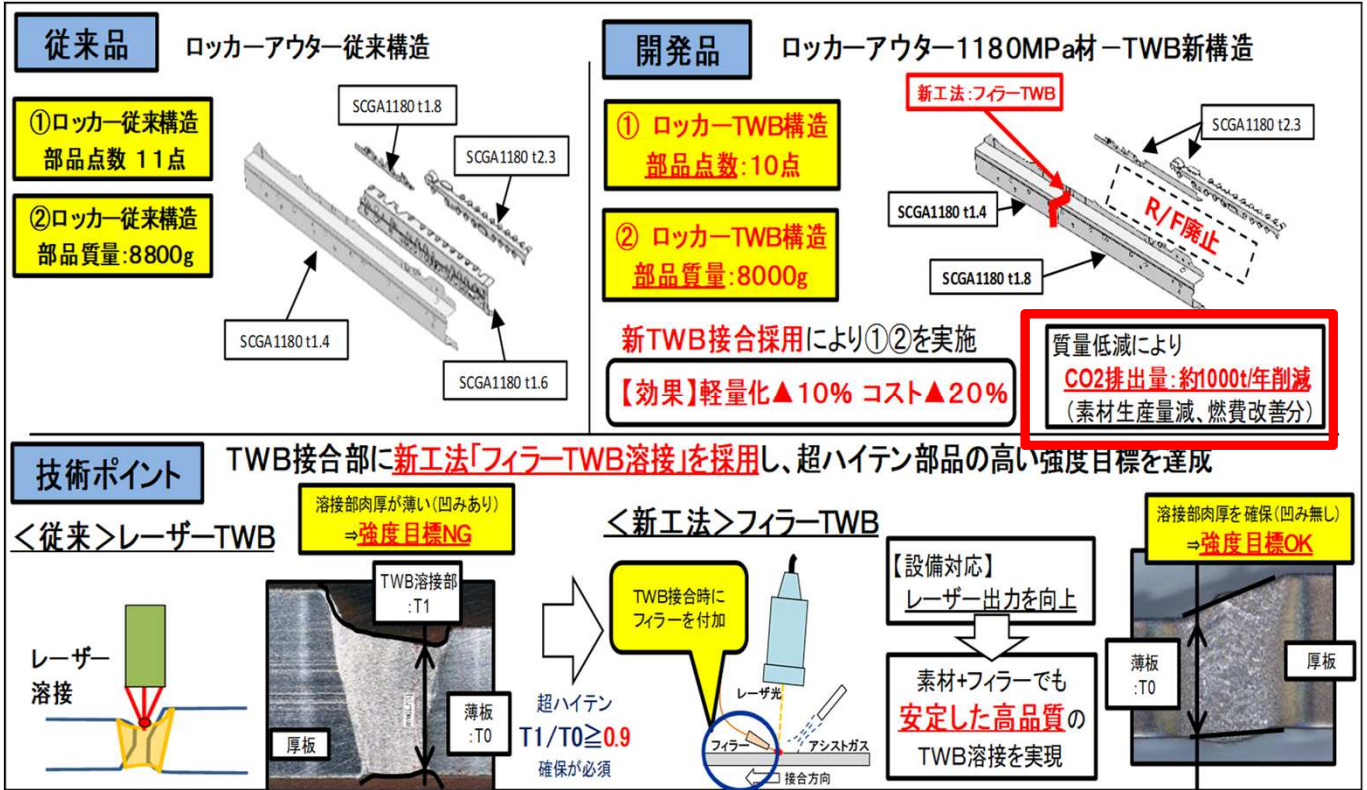
マガンの朝の飛び立ち





TOYOTA LEXUS NX プロジェクト賞「技術の部」受賞 (2021年12月)

ロッカーアウター1180MPa材TWB溶接の開発



最新受賞等情報 速報

- ◆2022年 6月
日本ビオトープ協会
ビオトープ大賞 受賞



- ◆2022年 10月
あいち生物多様性認証制度
「優良認証企業」認証取得



- ◆2022年 12月
第7回イオン生物多様性みどり賞
(国内賞) 優秀賞 受賞



10 第三者保証

第三者保証紹介

一般社団法人SDGs推進センター 副代表理事
環境省登録 環境カウンセラー
百瀬則子氏



2022年はウクライナの国際紛争と前年から続く新型コロナウイルス感染拡大という世界的な危機により、日本の産業界にも大きな影響が及びました。こうした間にも地球環境最大の問題である気候変動という危機は滞ることなく進み、気候災害が世界中で起こっています。こうした背景の中で、トヨタグループは持続可能な未来に向けて、ものづくりの技術開発を推進すると共に環境保全活動にも尽力し、SDGsを達成する社会構築をめざす事業と活動に取組み、その過程と結果、そして持続可能な未来に向けた行動計画を掲載した報告書を作成しました。

私は豊田鉄工株式会社へ環境活動の第三者保証のために本社を訪れ、環境報告書及びトヨタグループ環境委員会議事録についてインタビューを行い、報告書の記載内容等を拝見し、トヨタグループの事業及び環境・社会貢献活動がSDGs達成を目指したものであることを確認しました。

今年度の環境報告書トップメッセージには、カーボンニュートラルを目指し一人ひとりが環境問題を『自分ごと』として捉え、意識と見方と行動を変えとあります。トヨタは2030年までにCO2排出量を2013年度比50%削減、2050年にカーボンニュートラル達成を環境取組みプランに掲げて取り組んでいます。企業活動を通して従業員各人が問題意識を持ち、行動を変えていくことにより、地球全体の最重要環境課題である地球温暖化防止に向けて取組むことを力強く宣言されています。

今年度のトップニュースは、トヨタの森とその活動が高く評価され、日本ビオトープ協会から「第14回ビオトープ大賞」を受賞され、更にイオン環境財団の「第7回イオン生物多様性みどり賞」の受賞、愛知県から「あいち生物多様性優良認証企業」認定と、3冠に輝いたことでしょう。「企業の生物多様性への影響と保全への貢献」が企業評価にも大きな影響を及ぼす中での受賞は、トヨタが進めてきた自然共生への取組みが評価されたものです。

愛知県豊田市の工業地帯にあるトヨタの森は、工場と本社ビルの隣に日本本社ビルの跡地を10年かけ、地域植生を蘇らせて鳥や昆虫が生育する「まちなかの自然」を実現しました。また、このトヨタの森は、近くを流れる矢作川や自然が豊かな広陵地帯を繋ぐ「みどりの回廊」として、鳥や昆虫の移動域の中間点としての役割を果たしています。

開設当初は工場の敷地にあるビオトープでの企業の生物多様性保全活動が目的でした。しかし、2016年から「未来の子ども達に地域の自然を知って好きになって、大人になっても自然を愛する人になって欲しい」と、生き物観察の専門家に参画してもらい、トヨタの森活動として、定期的な生き物調査と子ども自然教育を定期的に実施しています。観察の結果、生き物の種類や生息数は年々増え、今では、251種にまで確認できている様です。トヨタの森が地域社会の「まちなかの自然」になったこと、そして生き物好きの子ども達が増えたことを確認しています。

技術革新による低炭素への貢献では、LEXUS NXプロジェクト賞「技術の部」を受賞した「ロッカーアウター1180Mpa材TWB溶接の開発」があります。自動車の前後のタイヤの間にあり、車内に乗り込む際にまたぐ部分の部品で、側面と前面からの衝突時に人を守る役割があるため、超ハイテン材を使用し高い強度を持たせた重要な部品です。従来の接合方法から新工法による接合を行う事で部品数の削減と軽量化に寄与しCO2排出削減効果は年間約1000トンにもなるそうです。

一方で、新素材開発にも取り組んでいます。休耕地や自社農場で栽培したソルガムという植物を素材からセルロースナノファイバーを作り、樹脂部品の材料に使用する研究開発を、名古屋大学と進めています。加工した残渣はバイオマス発電として使います。また家畜の飼料にもなり、サーキュラーエコノミーモデルと言えます。2024年実装を目指しています。このプロジェクトは、農地や栽培植物によるCO2吸収効果や、バイオマス素材使用やバイオマス発電による低炭素を目指す取組みでもあります。

環境マネジメントに関しては、2021年のISO14001の継続審査を無事に完了しました。2021年度トヨタグループ環境取組みプランの活動では、低炭素・循環・自然共生の構築に貢献していることを評価されています。今後の改善事項としては、工場から外部に環境汚染が流出した場合の緊急時の対応について改善の余地があるとされています。管理体制とトレーニングにより、更なるレベルアップを期待します。

また、1年前倒しでスタートした第5次プランのCO2削減取組みも順調に推移し、コロナ禍の影響で実施できなかった活動以外、2021年度の結果はほとんどの項目で達成していました。

2022年度活動計画の中で、環境室から環境部に組織を充実させ、更にCN推進室が設置されたことで、トヨタの2050年カーボンニュートラルに向けての意気込みが感じられました。

中長期CO2排出量削減シナリオには、日常改善による省エネ、技術革新による電力使用量削減、自家発電による再生可能エネルギーといった、事業活動での取組みとその計画が明記されています。2050年にカーボンニュートラルを実現するには、最終的に再生エネルギー証書やクレジット活用も検討されていますが、トヨタグループの農業事業や森林活動による吸収効果との相殺なども検討されることを期待します。

これらの確認ができたことにより、2021年度環境報告書の内容について保証いたします。

今後も製品ユーザーも含めた地球環境保全に貢献するものづくりと、自然共生・地域活動によりSDGsに貢献し、持続可能な未来に活躍する持続可能なトヨタグループであり続けることを期待しています。



豊田鉄工株式会社は国際社会が合意したSDGs(持続可能な開発目標)達成に向けて取り組んでいきます。